

西	洋	人	名
よ	み	か	た
・	辞	典	・

Ⅰ

政治
経済
社会
科学技術

西	洋	人	名
よ	み	が	た
・	辞	典	・

Ⅰ

政治
経済
社会
科学技術

日外アソシエーツ

西洋人名よみかた辞典

I. 政治・経済・社会・科学技術

1984年10月25日 第1版第1刷発行

定価9,900円

A 8704/32

西洋人名読法辞典 I

(日6-2/A2072-1)

A 01160

電算漢字処理／日外アソシエーツ(株)・インターメディア(株)
電算組版・印刷・製本／大日本印刷株式会社

不許複製・禁無断転載 (中性紙クリーム白象[㊤](北越製紙)使用)
<落丁・乱丁本はお取り替えます> Printed in Japan, 1984

ISBN 4-8169-0347-X (セット)

ISBN 4-8169-0416-6

刊行のことは

人名調査の中で、西洋人名の読みかたを調べることでぐらゐ予想外の手間を要することはない。比較的良く知られている人名 — 例えばドストエフスキーなども片仮名表記となると十通り近くあると言われているが、これは既成の人名辞典が、原音に近い表記をとるもの、あるいはわが国で慣用化されている表記をとるものなど、それぞれ方針が異なっているからである。そのため、同一人名でありながら、別人のごとく識別されるケースとか、さまざまな誤解が生じやすい。とくに、図書館員や研究者、翻訳家、編集者、記者など、仕事上、西洋人名の読みかたを調査する必要のある人々にとっては、各種辞典で採用されているいかなる片仮名表記からも原綴を参照でき、しかも代表的な原綴を知ることのできるツールが是非望まれるところである。

私たちは、この様な不便を解消するため、現在まで刊行された各種・各分野の人名辞典と百科事典など38種から西洋人名を抽出し、本書を編纂した。収録人物は、ヨーロッパ・南北アメリカ・ソ連をはじめ、アフリカ・中近東・インド等を含む、古今を通じた延べ15万人をもとに統合し、56,400人となった。また、利用の便を考慮し、Ⅰ. 政治・経済・社会・科学技術／Ⅱ. 哲学・宗教・文芸／Ⅲ. 芸術・芸能・スポーツの3分冊構成とし、さらに記述内容も単に原綴や片仮名表記を調べるためだけでなく、簡単な人名辞典としても役立つよう、生没年月日と簡単な人物の説明を付した。

この辞典が、西洋人名の調査にとって便利なツールとして広く活用されることを願っている。

1984年9月

日外アソシエーツ

凡 例

1. 構 成

1) 西洋人名よみかた辞典は、次の3分冊からなる。

I. 政治・経済・社会・科学技術

II. 哲学・宗教・文芸

III. 芸術・芸能・スポーツ

2) 各分冊の構成

人名原綴の部 (原綴見出し人名のABC順)

人名読みの部 (人名読み (片仮名表記) の五十音順)

2. 収載人物

38種・126冊の辞典・事典から延べ15万人を抽出・統合し、異なり人物(56,400人)に簡単な説明を付した。人物の範囲は、ヨーロッパ・南北アメリカ・ソ連をはじめ、アフリカ・中近東・インド・モンゴルを含む。また、これらの諸国で活躍している東洋人・日本人についても収載したものがある。ただし、架空・神話の人物は割愛した。

収録対象辞典・事典は、人物の原綴・読み・生没年の3要素を満たしているものを中心とした。これらの辞典・事典については一覧表を別にあげた(viiページ)。

3. 記載項目

1) 人名原綴の部

		人名原綴
		人名読み(異読み)
Gasser, Herbert Spencer	ガッサー(ガサー; ギャッサー)	1888-1963
アメリカの生理学者。1944年、神経繊維の研究で、ノーベル生理・医学賞受賞。		生没年月日/説明

2) 人名読みの部

ガッサー	→Gasser, Herbert Spencer	1888	1963
アメリカの生理学者			
		出身・身分・職業	

注1: 人物の説明は、「人名原綴の部」の方がより詳しく記述してあるので、必要であれば参照されたい。

注2: 中国名・日本名等の漢字表記は、人名読みのあとの()の中に示した。

4. 見出し及び排列

1) 人名原綴の部

人名原綴は、原則として、各辞典の原綴から多出するものを採用した。従って、本書での翻字法の統一は行っていない。

見出しの排列は、原綴のABC順とした。その際、冒頭の al, as, at, el, il 及び称号類は排列上無視し、イタリック体で表示した。また、文字に付く記号類もすべて無視した。

人名読みは、原則として、姓の片仮名表記をあげた。同一人物に読みが幾通りもあれば、比較的多用されている読みかたを代表として採用し、その他の読みは異読みとして（ ）でくくり、代表の読みのうしろに示した。

2) 人名読みの部

「人名原綴の部」であげられた全ての人名読み（異読みも含む）を五十音順に排列し、原綴をさし示した。その際、濁音・半濁音は清音、拗促音は直音と同等に扱い、長音及び中黒(・)は無視した。同じ読みの中では原綴順とした。

5. 生没年月日

西暦で記載した。辞典によって異説がある場合には、多出するものを採用した。

6. 人物の説明

1) 人名原綴の部

人物の輪郭がわかるように、出生地・出身地、身分・職業・肩書などのほかに、事績・代表的著書等、簡単な紹介を付した。

2) 人名読みの部

出身・身分・職業などを簡略に付した。

7. 収載人物の活動分野

本編収載人物の詳しい活動分野一覧を別にあげた (viiiページ)。

収録辞典(事典)一覧

書名	発行所名	初版年	刊年*
現代アメリカ人物カタログ	冬樹社	1982	-
コンサイス人名辞典・外国編	三省堂	1976	-
世界ジャズ人名辞典 1981年版	スイングジャーナル社	1981	-
スーパーレディ1009(上・下)	工作舎	1977~8	-
大事典 desk	講談社	1983	-
演奏家大事典(1~2巻)	財音楽鑑賞教育振興会	1982	-
新音楽辞典・人名	音楽之友社	1982	-
外国人名事典	平凡社	1954	1956
科学技術人名事典	共立出版	1971	1980
科学史技術史事典	弘文堂	1983	-
看護人名辞典	医学書院	1968	-
世界映画人名事典・監督(外国)編	キネマ旬報社	1975	-
教育人名辞典	理想社	1962	-
現代演奏家事典	修道社	1956	-
現代人物事典	朝日新聞社	1977	-
世界幻想作家事典	国書刊行会	1979	-
世界皇帝人名辞典	東京堂出版	1977	-
ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典(1~6巻)	TBSブリタニカ	1972~4	-
ブリタニカ国際大百科事典(1~20巻)	TBSブリタニカ	1972~5	-
子どもの本の事典	第一法規出版	1969	-
児童文学辞典	東京堂出版	1970	-
年刊人物情報事典1981(上・下)	日外アソシエーツ	1981	-
年刊人物情報事典'82(1~5巻)	日外アソシエーツ	1982	-
年刊人物情報事典'83(1~3巻)	日外アソシエーツ	1983	-
世界人物事典	旺文社	1967	-
岩波西洋人名辞典・増補版	岩波書店	1981	-
世界人名辞典・新版・西洋編	東京堂出版	1971	1976
世界大百科事典(1~23巻)	平凡社	1964~8	-
体育人名辞典	逍遙書院	1970	-
大日本百科事典(1~23巻)	小学館	1967~72	1981
中東人名事典	財中東調査会	1979	-
世界伝記大事典・世界編(1~12巻)	ほるぷ出版	1980~81	-
世界映画人名事典・男女優編	キネマ旬報社	1974	-
現代美術家事典	美術出版社	1970	-
現代物故者事典 1980~1982	日外アソシエーツ	1983	-
世界名詩鑑賞辞典	東京堂出版	1969	-
世界名著大事典 8 著者編	平凡社	1962	1974
来日西洋人名事典	日外アソシエーツ	1983	-

* 本事典編纂に使用した事典(辞典)の刊行年月、--は初版を示す。

本編収載人物の活動分野一覧

王侯貴族・軍人

国王、君主、皇帝、カリフ、スルタン、貴族、騎士、将軍、軍人など

政治・官界・法曹

政治家、外交官、財政家、官吏、裁判官、弁護士、雄弁家、政治学者、法学者など

経済・産業

商人、製造業者、企業経営者、銀行家、実業家、運輸・通信関係者、殖産家、植民地開拓者、経済学者、農学者など

社会運動

民族運動、社会主義運動、労働運動、婦人運動、市民運動、平和運動などの社会運動家

教育・社会教育・社会福祉

教育者、教師、教育学者、社会教育関係者、図書館・博物館関係者、社会事業家、社会福祉家、慈善事業家など

探検・冒険

探検家、冒険家、旅行家、飛行家など

話題・事件・犯罪

自然科学者・研究者・技術者

数学・物理学・化学・天文学・地学・生物学・博物学・動物学・工学・工業などの学者・研究者、技術者・技師、発明家など

医学・医療・保健

医学者、薬学者、栄養学者、医師、看護婦など

[A]

- Aah-mes** アアフ・メス(アーメス) 前1550頃
エジプトの王室書記官。
- Aah-mes I** アアフ・メス I(アーメスI; アフ・メス; アーモスI) 生没年未詳 エジプト第18王朝の創始者(在位前1570~1550)。
- Aah-mes II** アアフメスII(アフ・メスII; アーモスII; アーモス II) ?-前526 エジプト第26王朝の王(在位前569~26)。
- Aaltonen, Väinö** アールトネン 1906-
フィンランドの政治家。一介の土建労働者として革命運動に参加。1948年より共産党議長。
- A-anni-padda** ア・アンニ・パッダ 前2550-2470 バビロニアのウル第1王朝の祖メス・アンニ・パッダの子。
- Abāghā Khān** アバーガー・ハーン(アバーカー; アバーガー・カーン; アバーカ・ハン) 1234. 3-82. 4. 1 イル汗朝第2代の王(在位1265~81)。
- Abano, Pietro d'** アバーノ 1250頃-1316頃 イタリアの医学者。
- Abauzit, Firmin** アボージット 1679. 11. 12-1767. 3. 20 フランスの啓蒙哲学者、神学者、科学者。正統プロテスタントの教義を自然主義的に解釈した。
- Abbadi, Beshir Ahmad** アバディ 1936-
スーダンの政治家、科学者。スーダン科学界の大御所であるとともに、確かな行政手腕も持ち、鉄道航空などスーダンの運輸事情の改善に力を注いでいる。
- Abbadie, Antoine Thompson d'** アバディ 1810-97. 3. 19 フランスの探検家。エチオピアの探検に従事して(1836~39; 42~48)、同地の地理、気象、言語を研究し、かつ多くの資料を集めた。
- Abbadie, Arnaud d'** アバディ 1815-93. 11. 13 フランスの探検家。アルジェリア(1833~36)およびエチオピア(36~48; 53)に探検旅行を試みた。
- 'Abbās I** アッパースI(シャー・アッパース) 1571. 1. 27-1629. 1. 19 ペルシアのサファヴィー朝第5代の王(在位1587~1629)。最新の砲術や戦術による直属の親衛軍を新たに編成しサファヴィー朝の最盛期を生む。新都イスファハンに大建設事業を起す。
- Abbas I** アッパース I 1813-54 エジプトのバシヤ(在位1848~54)。
- 'Abbās II** アッパースII(シャー・アッパース II) 1633-66 イランのサファヴィー朝第7代王(在位42~66)。
- Abbās, Ferhāt** アッパース(アバス) 1899-
アルジェリア民族主義運動の指導者。1946年「アルジェリア宣言民主同盟」を結成、党首(~55)。58年革命政府の初代首相に就任。
- Abbas, Hassan Khalid** アッバス 1936-
スーダンの政治家。1974年スーダン社会主義者連合(SSU)中央委員。
- 'Abbāsah** アッバーサ 8世紀頃 アラビア婦人。アッパース朝のカリフ: ハールームス・ラシドおよびハーディーの姉妹。
- 'Abbās Hilmi II** アッパース・ヒルミー II (アッバスII) 1874. 7. 16-1944 エジプトのムハンマド・アリー王朝第7代の王(1892~1914)。
- 'Abbās Mirzā** アッパース・ミールザー ?-1833 イランのカージャール朝第2代ファテ・アリー・シャーの子で皇太子。イランの近代化に貢献した。
- Abbe, Cleveland** アッベ(アッピ) 1838. 12. 3-1916. 10. 28 アメリカの気象学者。ヨーロッパにおける気象学の諸論文を編集して『大気力学』(3巻, 1877~1910)を刊行した。また、ブリズム望遠鏡の発明がある(96)。
- Abbe, Ernst Karl** アッベ 1840. 1. 23-1905. 1. 14 ドイツの物理学者。天文台長兼気象台長、カール・ツァイス社の会長。光学ガラスおよび光学機械の改良に貢献。
- Abbey, Richard** アベイ 1841-1913 イギリス人 電信(工部省電信寮技師)。
- Abbot, Joel** アボット 1793. 1. 18-1855. 12. 14 アメリカ海軍士官。ペリ提督の指揮下に入り、先任艦長として琉球を経て6艦と共に浦賀に到着(54. 2)、日本の開港に成功した。
- Abbott, Charles Greeley** アボット 1872. 5. 31-1954. 6. 9 アメリカの天文学者。スミソニアン天体物理学研究所長(1907~44)。太陽放射の研究に貢献。著書『太陽』『地球と星』。
- Abbott, Edgar** アボット 1850?-90. 7 イギリス人 産業(ジャパン・ブリワリー・カンパニー創立)。
- Abbott, James Francis** アボット 1876. 9. 27-1926. 7. 3. アメリカ人 外交(駐日アメリカ大館付商務官) 教育(滋賀県商業学校、海軍兵学校: 英語)。
- 'Abbūd, Ibrāhīm** アブブード(アブード) 1900-
スーダンの軍人、政治家。1958年の無血クーデターにより軍最高評議会議長(元首)に

就任。

‘**Abd al-‘Azīz** アブドゥル・アズィーズ(アブドゥル・アジーズ; アブデュル・アズィーズ) 1830—76 オスマン・トルコ帝国第32代スルタン(在位1861—76)。

‘**Abd al-‘Azīz IV**, **Mulai** アブドゥル・アズィーズIV(アブド・アルアズィーズIV) 1878—1943 モロッコのスルタン(在位1894—1908)。弟のアブド・アルハフィーズらの反乱で失脚、フランスに亡命。

‘**Abd al-Hādī**, ‘**Awnī** アブド・アルハーディー 1889—1970 パレスチナ-アラブの政治家・法律家。1924年以後パレスチナ-アラブの代表的指導者の一人となる。

‘**Abd al-Hafiz**, **Mulai** **Hafiz** アブド・アルハフィーズ 1875—? モロッコのスルタン(在位1908—12)。

‘**Abd al-Ilāh bn ‘Alī** アブド・アルイラーフ 1912—58 イラク王国の摂政(1939—53)。皇太子(53—58)。スーリー-アッサイードと協力して親英的立場をとる。

Abdallah, **Abdul Rahman** アブダラ 1932— スーダンの政治家。アラブ世界の中で行政問題の専門家として知られ、ニメイリ大統領の信任も厚い。

‘**Abd Allāh b. ‘Abd al-‘Azīz al-Sa-‘ūd** アブドッラー 1921— サウジアラビアの王族。1975年ファイサル暗殺後に生まれたハリド新体制下で、第二副首相に就任。

‘**Abd Allāh bn al-Zubayr** アブド・アッラーフ・ブン・アッズバイル(アブドゥッラー・イブン・アッズバイル) 622—92 ウマイヤ朝時代初期の僭称カリフ。アラブの大征服に参加しシリア、エジプト、イランの戦役で活躍、コーランの公式編集にも参加。

‘**Abd Allāh bn Muḥammad Khalīfa** アブド・アッラーフ 1846頃—99 スーダンのマフディー運動の指導者。1873年マフディーの弟子となり、マフディー死後、その継承者として85—98年スーダンを支配した。

‘**Abd Allāh b. Salīm al-Sabāh** アブドッラー 1897—1965.11.24 クウェートの首長。『アラブ経済開発クウェート基金』を創設、非産油アラブ諸国の開発援助を始めた。

‘**Abd al-Laṭīf al-Baḡhdādī** アブド・アッラティーフ・アルバグダーディー 1160—1231 バグダードの神学者・哲学者・医者・天文学者。

‘**Abd al-Majīd I** アブドゥル・マジドI(アブドゥル・メジド; アブデュル・メジド; アブデ

ュル・メジト; アブドゥル・メジド I)

1823—61 オスマン朝帝国第31代スルタン(在位1839—61)。「ギュル・ハネの憲章」を発布(1839)し近代の統一国家を目指す全般的な改革に着手。

‘**Abd al-Malik bn Marwān** アブドゥル・マリク・ブン・マルワーン(アブドゥル・マリク; アブド・アルマリク) 646/7—705 ウマイヤ朝第5代カリフ(在位685—705)。シリアのアラブ軍を再編成し、イラクを再征服。行政組織を再編成し、行政用語にアラビア語を採用し、イスラムの金貨、銀貨を初めて鑄造し国家体制の整備にも努めた。エルサレムに残る岩のドームを建設。

‘**Abd al-Mu‘min bn ‘Alī** アブド・アルムウミン(アブドゥル・ムウミン; アブドゥル・ムーミン) 1095頃—1163 北アフリカのアル・ムワッヒド朝初代のカリフ(1130—63)。

‘**Abd al-Qādir** アブドゥル・カーディル(アブド・アルカーディル; アブデルカーデル) 1808—83.5 アルジェリアの反仏運動の指導者。フランス軍をたびたび撃破し独立を保ったが、40年以降奪回されモロッコに亡命。

‘**Abd al-Qādir al-Jilānī** アブドゥル・カーディル・アッジーラーニー(アブド・アルカーディル・アルジーラーニー) 1077/8—1166 イブン・ハンバル派の神学者、法学者、神秘主義者。イスラム世界最古の神秘主義教団カーディリーヤの祖。

‘**Abd al-Rahmān** アブドゥル・ラフマーン ?—1246 モンゴルの財政家。39年帝国東半部の財政を一手に握った。

‘**Abd al-Rahmān** アブドゥル・ラフマーン(アブド・アッラフマーン) 1778—1859 モロッコのスルタン(在位1822—59)。抗仏闘争中のアブド・アルカーディルを支援(34)、ともにフランスと戦った。

‘**Abd al-Rahmān I** アブドゥル・ラフマーンI(アブド・アッラフマーンI; アブデル・ラーマーンI; アブドール・ラフマーン I; アブドゥル・ラハマーン I; アブドゥッ・ラフマーンI) 731—88 イベリア半島の後ウマイヤ朝の創始者(在位756—788)。

‘**Abd al-Rahmān III** アブドゥル・ラフマーン III(アブド・アッラフマーンIII; アブデル・ラーマーンIII; アブドゥル・ラハマーン III; アブドゥッ・ラフマーンIII) 891—961 後ウマイヤ朝第8代の君主(在位912—961)。コルドバをイスラム文芸の中心地に発展させた。

‘Abd al-Rahmān Khān アブドゥル・ラフマーン・ハーン(アブドゥル・ラハマーン;アブドゥル・ラフマーン・カーン;アブドゥッ・ラフマーン・ハーン;アブドゥルラフマーン;アブドゥル・ラーマン;アブドゥル・ラフマン)

1844?—1901. 10. 1 アフガニスタンのバーラクザイー朝第4代の王(在位1880—1901)。96年にはアフガニスタン統一に成功。ロシア政府ならびにインド政府との間に国境協定を結ぶ。

‘Abd al-Razzāq al-Samarqandī アブドゥッ・ラッザーク・サマルカンドイー(アブドゥル・ラッザーク;アブドゥル・ラッザーク・サマルカンドイー) 1413—82 中央アジア、チムール朝の政治家。『幸運の両星の出現』(2巻)は1304—1471年のイル・ハン朝やチムール朝の歴史。

‘Abd al-Salām, Belayd アブデッサラム(アブドッサラム) 1928— アルジェリアの政治家。アラブ石油輸出国機構(OAPEC)の事務局長。

‘Abd al-Wahhāb, Muḥammad bn アブド・アルワッハーブ 18世紀 中央アラビアの法学者。宗教改革をめざし、ワッハーブ運動を展開するムハンマドの父。

‘Abd al-Wahhāb, Muḥammad bn アブド・アルワッハーブ(アブドゥル・ワッハーブ;ワッハーブ;ムハムマド・ブン・アブドゥル・ワッハーブ;ムハンマド・ブン・アブド・アルワッハーブ) 1703—87 アラビアの復古主義思想家。ワッハーブ運動を発展させ中東北アラビアを制してワッハーブ王国の成立をもたらした。

Abd el-Krim アブデル・クリム(アブド・アル・カリーム;アブドゥル・カリーム) 1881—1963. 2. 6 モロッコの族長。モロッコ解放運動を指導し、1921年リーフ独立共和国を樹立、大統領となる。

Abderhalden, Emil アブデルハルデン(アブデルハルデン) 1877. 3. 9—1950. 8. 7 ドイツで活動したスイスの生化学者。蛋白質の中性溶液にニンヒドリンを加えて煮沸し、冷すと青色を呈する反応を発見し、(ニンヒドリンの反応)或は(アブデルハルデンの反応)と呼ばれる。

Abdoh, Jalal アブド— 1909— イランの外交官。1971年からイラン銀行協会会長、イラン国連協会会長。

Abd Rabbi, Yassir アブド・ラッビ 1944— パレスチナ・DFLP幹部。77年4月以後PLOの情報文化部長。

‘Abd Shams Saba’ アブド・シャムス・サバ アラビアの伝説的人物。マアリブの町と堤防を建設したと言われる。

Abdul-Aziz bin Hameed al-Qasimi アブドル・アジズ アラブ首長国連邦の政治家。1977年連邦最高評議会担当国務相。

Abdul-Aziz bin Khalifa al-Thani, Sheikh アブドル・アジーズ 1948— カタールの政治家。1976年のOPEC総会議長。

Abdul-Aziz bin Muhammad al-Khalifa, Sheikh アブドル・アジーズ 1930— バハレーンの政治家。1973年以来教育相。70—71年には湾岸工科大学運営委員長。

Abdul-Ghani, Abdul-Aziz アブドル・ガーニー 1939— イエメンの政治家、財政家。ハマディ政権下で1975年首相に就任。以後ガシユミ、サレ両政権でも首相として留任している経済テクノクラート。

Abdul-Ghani, Muhammad Bin Ahmad アブドル・ガーニー アルジェリアの軍人、政治家。1969年革命評議会議員。76年以来内相。

Abdul-Hadi, Awni アブドル・ハーディ 1889—1970 パレスチナ解放運動の大家、弁護士。48年9月にガザに成立した短命の全パレスチナ政府に社会問題相として入閣。

Abdul-Hak Hamit Tarhan アブドゥル・ハック・ハミト(アブドゥル・ハック・ハミト・ベイ;アブデュルハック・ハミト;アブドルハック・ハミト) 1852. 1. 2—1937. 4. 12 トルコの詩人、文学者、外交官。外務省1等書記官在任中、反専制的な作品を発表して免職、作品発表禁止される。主著『愛の葛藤』(68)。

Abdul-Hamid, Fathi アブドル・ハミード(アミド) 1934— パレスチナ解放機構(PLO)東京事務所長。

‘Abdu’l Hamit I アブドゥル・ハミト I(アブデュル・ハミトI) 1725. 5. 20—89. 4. 7 オスマン・トルコ帝国第27代のスルタン(1774—89)。スルタン：アフメット三世の次子。ロシア軍に破れ、以来ロシアの干渉が始まった。

‘Abdu’l Hamit II アブドゥル・ハミトII(アブデュル・ハミトII;アブデュル・ハミットII;アブドゥル・ハミド II) 1842—1918 オスマン・トルコ帝国第34代のスルタン(在位1876—1909)。初め自由主義的傾向を示したが、後にオスマン朝末期に現れた最も保守、専制的な君主となった。

‘Abdu’l-Haq, Maulvi アブドゥル・ハック 1870. 8—1961. 8 パキスタンの教育家、ウルドゥー語学者。ウルドゥー語の普及発展に寄与し

ている。

Abdul-Hussein, Muhiyeddin アブデル・フセイン 1935 イラクの政治家。無任所相として初入閣。革命評議会委員(1977)。

Abdul-Jalil, Ghanim アブデル・ジャリル 1938 イラクの政治家。イラク石油操業会社総裁(1972)。

Abdul-Karim, Tayih アブデル・カリム 1933- イラクの政治家。革命評議会局長(1968)。

'Abdu'l-Kerim Pasha アブドゥル・ケリム・パシャ(アブデュルケリム・ナーディル・パシャ) 1807/11-83.3 オスマン・トルコ帝国の武將。陸相としてフセイン・アウニ・パシャ等と共にオスマン軍団の再建に当った。

Abdullah, Moulay アブダラ 1934 モロッコの王弟。故モハメド5世国王の王子。

Abdullah, Muhammad Said アブドゥラー 1947- ナイエメンの政務家。公安官僚。1974年国家公安相。78年政変後のイエメン社会党内序列第7位。政治局長。

Abdullah, Sheikh Mohamad アブドゥッラー(シェイフ・アブドゥッラー;アブドラ) 1905-82.9.8 カシミールの改革運動家。1938年カシミール国民会議党首。第2次世界大戦後「カシミール人のためのカシミール」という離脱運動を始めた。ジャム・カシミール州首相。

'Abdullāh al-Battāl アブドゥッラー・アル・バッタール ? 740 アラビアの文人。

Abdullah al-Sheikh, Sheikh Hassan アブドゥラー 1932 サウジアラビアの政治家。教育家。高等教育相(1975)。

Abdullah bin Khalid al-Khalifa, Sheikh アブドゥラー 1922 バハレーンの判事。政治家。1975年司法・宗教相に就任。75-76年商業・農業相代理を兼任。

Abdullah bin Khalifa bin Harule アブダラ ザンジバル立憲君主国最後のスルタン(在位1960-64)。

Abdullāh ibn Husein アブドゥッラー・イブン・フサイン(アブドゥッラー;アブドゥラ・イブン・フッセイン;アブド・アッラーフ・ブン・フサイン;アブドゥラー;アブドゥッラー・ビン・フサイン;アブドゥッラー;アブドゥッラー・イブン・アル・フサイン) 1882 1951.7.20 ユーダヤ王国。第1次世界大戦ではトルコに対するアラブの叛乱を指導。46年ロンドン条約による独立の枢密院に就任。51年パレスチナ人に暗殺された。

'Abdullāh ibnu'z-Zubair アブドゥッラー・イブヌッ・ズバイル 622/4-92.10.4 アラビアの貴族。

'Abdullāh ibn Yāsīn (Tāshfīn) アブドゥッラー・イブン・ヤースィーン ?-1059 北アフリカのアルモラヴィッド朝の創始者(在位1056-73)。

Abdul-Wali, Abdul-Aziz アブデル・ワリー 1945- ナイエメンの政治家。1975年から工業相。経済計画相代行兼務。イエメン社会党政治局員。党内序列第5位。

'Abdu'r-Rahmān as-Sūfī アブドゥル・ラハマーン・アッ・スーフイー(アブドル・ラフマーン・アッ・スーフイー;スーフイー;アッ・スーフイー) 903.12.8 86.5 アラビアの天文学者。占星術者。

'Abdu'r-Rahmān ibnu'l-Qāsim アブドゥル・ラハマーン・イブヌル・カースィム 719 806 イスラム法学者。

'Abdu'r-Razzāq bin Fadlullāh アブドゥル・ラッザーク・ビン・ファズルッラー イランのホラサーン地方のサルバダール朝(1337-81)の創始者(在位1337-38)。

Abegg, Richard アベック 1869.11.9-1910.4.3 ドイツの化学者。溶液の氷点に関する研究を行い(94-98)、また原子価に関する学説を提出した(99)。

Abel, Sir Frederick Augustus アーベル(エーベル) 1827.7.17-1902.9.6 イギリスの化学者。火薬の研究。銅の製造の權威でデュアールと共にコルダイトを発明して、無煙火薬製造の途をひらいた。

Abel, John Jacob アーベル 1857.5.19 1938.5.26 アメリカの生化学者。副腎ホルモンのエビネフリン(アドレナリン)の研究は有名。

Abel, Niels Henrik アーベル 1802.8.5 29.4.6 ノルウェーの数学者。1823年5次以上の代数方程式は一般に代数的には解けないことを証明。26年代数関数の積分理論を発表。その後方程式論、楕円関数論を研究し、28年アーベルの方程式を発見。

Abel, Othenio アーベル 1875.6.20 1946.7.4 オーストリアの古生物学者。古生物の生態を復元する古生物学の主要者。

Abel, Wilhelm アーベル 1904 ドイツの経済史家。とくに農業史、農業政策を専攻。

Abelson, Philip Hauge エーベルソン 1913.4.27 アメリカの物理化学者。超ウラン元素を発見(40)。

- Abendanon, J. H. アベンダノン** 1852—
1925 オランダ領東インドの教育省長官。インドネシア人に対する教育の普及を指導、女子教育を発展させた。
- Abendroth, Wolfgang アーベントロート**
1906. 5. 2— ドイツの政治学者。官僚制を批判し、社会民主主義の理念を追求する。
- Abercrombie, Sir Leslie Patrick アバクロンビ** 1879—1957. 3. 23 イギリスの建築家、都市計画家。第二次大戦が勃発するや、近代戦に対応すべき大都市およびその周辺の計画について重要な見解を発表した。
- Abercromby, Sir Ralph アバクロンビ**
1734. 10. 7—1801. 3. 28 イギリスの軍人。エジプトに派遣されアブキル湾に上陸作戦を行った(1801)。アレクサンドリア附近で戦死。
- Abercromby, Sir Ralph アバクロンビ**
1842—97. 6. 21 イギリスの気象学者。雲の科学的分類に貢献した。
- Aberdeen, George Hamilton Gordon, 4th Earl of アバディーン(アバーディーン伯; アバディーン4代伯)** 1784. 1. 28—1860. 12. 10 イギリスの政治家。クリミア戦争勃発時の諸党派連合内閣の首相。
- Aberdeen, Ishbel Maria Gordon, Marchioness of アバディーン** 1857. 3. 14—1939. 4. 18 イギリスの婦人運動指導者。国際婦人会議の議長および組織者(1893—1936)。
- Aberdeen, John Campbell Gordon, 1st Marquis of A. and Temair アバディーン** 1847. 8. 3—1934 イギリスの政治家。アイルランド総督(1886; 1905—15)、カナダ総督(1893—98)を歴任。
- Aberhart, William アーバハート(エイバハート)** 1878—1943 カナダの政治家。アルバータ社会信用党の創設者。
- Abernathy, Ralph David アバナシー**
1926. 3. 11— アメリカの牧師、黒人運動家。55年キング師らと人種差別反対運動を始め、57年南部キリスト者指導会議SCLCを設立。
- Abernethy, John アバネーシ** 1764. 4. 3—1831. 4. 20 イギリスの外科学者、解剖学者。動脈瘤に対して外腸骨動脈を結紮する手術の創始者(96)。
- Abetz, Heinrich Otto アベッツ** 1903. 3. 26—58. 5. 5 ドイツ(ナチス)の政治家。青少年運動を指導。
- Abildgaard, Peter Christian アビルゴール** 1740頃 1801. 1. 11 デンマークの獣医。牛疫を研究。
- Abimeleck アビメレク** 南パレスチナのゲラルの王(創世記)。
- Abney, Sir William de Wiveleslie アブニ** 1843. 7. 24—1920. 12. 3 イギリスの化学者。特に写真化学、分光学、色彩の分類学についてすぐれた研究がある。
- Abou Zaid, Salah アブー・ザイド** 1925—
ヨルダンの政治家。著作『アル・フセイン・ビン・タラール』(1958)がある。
- Abovyan, Khachatur アボブヤーン(アボヴァーン)** 1805—48 アルメニアの作家・教育家・人種誌学者。標準アルメニア語の確立者。代表作は長編小説『アルメニアの傷』(40)。
- Abrabanel, Isaac アブラバネル** 1437—1508 ユダヤ人の政治家、哲学者、神学者、注釈者。国政に関する実践的な知識を『サムエル記』『列王紀』の解説に適用。
- Abraha, al-Ashram al-Habashī アブラハ** 6世紀頃 アビシニアの武将。
- Abraham, Max アブラハム** 1875. 3. 26—1922. 9. 16 ドイツの理論物理学者。剛体電子論を提唱するなど、電磁気理論の改良を行なった。
- Abrams, Albert アブラムス** 1863. 12. 8—1924. 1. 13 アメリカの内科医。アブラムス心臓反射を発見。
- Abravanel, Leo Hebraeus アブラヴァネール** 1465頃—1535 ユダヤ人の哲学者、医者。
- Abrikosov, Aleksei Ivanovich アブリコフ** 1875—1955 ソ連邦の医学者。肺結核第1期の解剖学的研究で有名。
- Abruzzi, Luigi Amedeo Giuseppe Maria Ferdinando Francesco アブルツィ(アブルツィ公)** 1873. 1. 29—1933 イタリアの海将、探検家。スペイン王のアメデオの子。北極探検を企て当時のナンセンの記録を破った(1900)。
- Abruzzo, Ben アブルツォ(アブロッツ)** 1930. 6 気球飛行家、米総合不動産会社社長。
- Abs, Hermann J. アブス** 1901. 10. 15—
西ドイツの銀行家。アデナウアー政権のブレーンとして、基礎産業への融資を旨とした投資援助法1を制定させるなど、西ドイツ経済の奇跡の復興に貢献した。
- Absalon アブサロン(アブサロン)** 1128—1201 デンマークの大同教。ワルデマール1世の宰相。コペンハーゲン城塞の建設を指揮。

Abū al-Hudā, Tawfīq アブー・アルフダー
1895—1956 ヨルダンの政治家。アラブ反乱に
参加。1939—44, 47—50年首相。

Abū al-Qāsim 'Ammār, ibn 'Alī al-
Mawsilī アブル・カーシム・アンマール
11世紀 イラク出身の眼科医。

Abū al-Qāsim Muḥammad ibn Aḥmad al-
Ṣimawī al-'Irāqī アブル・カーシム・
アル・イラーキ 13世紀の後半に活躍したイ
スラム教徒の錬金術師。

Abū Bakr アブー・バクル(アブー・バクル・ア
ブドゥルラー) 570頃—634. 8. 23 イスラム
国家の初代カリフ(在位632—634)。預言者マホ
メットを助け、巡礼や礼拝の際にしばしばマホ
メットの代理を果し、彼の死後全員一致でカリ
フに選ばれた。

Abū Bakr al-Bayṭār bn al-Mundhir ア
ブー・バクル・アル・バイタール ?—1340
エジプトの獣医学者。

Abū Bakr Muḥammad アブー・バクル・ム
ハンマッド ?—1198 スペインにおけるサ
ラセンのアラブ系医学者、文人。

Abu Daud アブー・ダウド(ダウド) 1937—
パレスチナ・ゲリラ・ファタハ革命評議会の一
員。ミュンヘン・オリンピック選手村のイスラ
エル代表団襲撃事件(72年9月)の中心人物。

Abū Ḥāmid al-Andalusī アブー・ハーミド
・アル・アンダルスィー(アブー・ハーミド)
1080/1—1169/70 イスラム教徒の旅行家。
1136年にボルガ河口からハンガリー方面を訪
れ、旅行記『西方へのいざない』と『心のはな
むけ』を著わした。

Abū Hanīfa al-Nu'mān Ibn Thābit アブ
ー・ハニファ 699頃—767 イスラム4大
法学派の一つ、ハナフィー学派の祖。彼の思想
は問答の形で後世に伝えられた。

Abū Ishāq Injū アブー・イスハーク・インジ
ュー ?—1357 イラン国ファールスの統治
者で詩人。

Abū Iyād アブー・イヤド 1933— パレス
チナ解放機関(PLO)執行委員。アラファト
PLO議長に次ぐ実力者。

Abū Kāmil Shujā' ibn Aslam アブー・カ
ミール 850頃—930頃 エジプトで活躍した
イスラム(回)教徒の数学者。

Abū'l-Abbās as-Saffāḥ アブール・アッバ
ース・アッ・サッファールハ(アブル・アッパ
ース・サッファーン; アブル・アッパース・アッ
・サッファーフ; アブー・アル・アッパース)
724頃—546 アッパース朝の第1代カリフ(在

位750—754)。アッパース家の革命運動の支持
者からカリフになり、王朝の安定化をはかつ
た。

Abū'l-Faḍl アブル・ファズル 1551—1602
インド、ムガル帝国のアクバル大帝の重臣。
『アクバル・ナーメ』『アーイーネ・アクバリ
ー』の著者として有名。

Abū'l Ghāzī Bahādur Khān アブル・ガー
ジ・バハドゥル・ハン(アブール・ガーズィ
ー; アブル・ガジ) 1603—63 ヒワ・ハン国
のハン(1643年—)。ブハラ・ハン国と激戦を続
けた。歴史に興味をもち『トルクメン族の系
譜』『トルコ族の系譜』を著わした。

Abū'l Qāsim アブル・カーシム(アルバカシス;
ザフラウウィー; ザフラウヴィ) 936頃—
1013頃 アラビアの医者。外科に秀で、アブド
ゥル・ラフマーン3世の侍医をつとめた。主著
『アルタスリーフ』は血友病についての最初の
記載で知られる。

Abū'l-Wafā, al-Būzajān アブル・ワファアー
(アブー・アルワファー) 940. 6—998. 7 イ
スラム教徒の数学、天文学者。三角法や幾何学
の発展に貢献。著書『完全の書』『幾何学の
書』など。

Abū Mansūr Muwaffaq ibn 'Alī al-
Harawī アブー・マンスール・ムワッファ
ク(ムワッファク) 生没年未詳 イランの化
学者、薬物学者。10世紀後半頃の人。

Abū Ma'shar Ja'far bn Muḥammad ア
ブー・マールシャル(アブー・マアシャル)
786頃—886. 3. 8 アラビアの天文学者。

Abū Muḥammad 'Ubayd Allāh al-Mahdi
アブー・ムハマッド ?—934 エジプトの
ファーティマ朝の始祖、第1代カリフ(在位909
—934)。

Abū Muslim al-Khurasānī アブー・ムスリ
ム 727頃—55. 1 アッパース家の革命運動
の指導者。ペルシア系マワーリーの間秘密運
動を組織し、747年6月15日蜂起。49年ホラーサ
ン総督となる。

Abu Nidal アブー・ニダル 1934— パレス
チナ革命政治委員会の委員長。

Abū Sa'id アブー・サイード 1305—35 イ
ル・ハン国第9代の君主(在位1316—35)。エジ
プトのマムルーク朝と講和し(1323)、ロシア、
中央アジアからの侵入を撃退。

Abū Sa'id Timūriyeh アブー・サイード
1427—69 イランにおけるティムール朝第7代
の主(1452—67)。

- Abusch, Alexander** アブッシュ 1902. 2. 14—82. 1. 27 ドイツ民主共和国の政治家、評論家。1958～61年文化相、61年副首相。
- Abu Sharif, Bassam** アブー・シャリフ バレスチナ・PFLPのスポークスマン。
- Abū's-Sāj Dīwād** アブーウッ・サージ・デューヴァード ?—879 イランにおけるアッバース朝のアゼルバイジャンの太守。
- Abū Sulaimān Dā'ūd** アブー・スライマーン・ダーウード 815—84. 3 イスラム法学ザーヒル派の創始者。
- Abū Tāhir Sulaimān** アブー・ターヒル・スライマーン(アブー・ターヒル) ?—944 カルマト派教団の指揮者。
- Abū 'Ubayda al-Jarrāh** アブー・ウバイダ(アブー・ウバイダ・ブン・ジャッラフ) 583—641 初期イスラム教団の有力指導者。第2代カリフ、ウマルの時にシリア征服の最高指揮官となり北部シリアの諸都市を征服し、統治機構の整備に努めた。
- Abū 'Uthmān Sa'id** アブー・ウスマーン・サイード ?—854/5 インドの民族主義者。
- Abu Wafiya, Muhammad** アブー・ワフィヤ エジプトの大土地所有者。人民国会分科委員会の委員長などを務めながら、サダト政権の「開放政策」の実践的役割を果たしてきた。
- Abū Yūsuf Ya'qūb** アブー・ユースフ 731—98. 4. 21 イスラム法学者で、ハナフィー学派創設者の一人。現存する唯一の著作は『租税の書』。
- Abū Yūsuf Ya'qūb al-Qarshī** アブー・ユースフ・ヤアクブ・アル・カルシー 9世紀 アラビアの天文学者。
- Abzug, Bella Savitzky** アブザグ(アブザグ) 1920— ウーマンリブの闘士、ニューヨーク選出米下院議員。
- Accursius, Franciscus** アククルシウス 1185頃—1263 イタリアの法学者。
- Achá, José Maria de** アチャ ?—1868 ボリビアの軍人、政治家。大統領(1861—64)。
- Achainēs** アカイメネス ペルシア帝国アカイメネス王朝の祖(在位前700—675)。
- Achard, Charles** アシャール 1860—1944 フランスの医学者。バラチフスB菌の発見者でバラチフス症を記載した。
- Achard, Franz Karl** アシャール 1753. 4. 28—1821. 4. 20 ドイツの化学者。甜菜中に砂糖のあることを発見したマルクグラフの実験のもとで、シュッケンに製糖工場を作った(1801)。
- Acheampong, Ignatius Kuti** アチャンボン 1931. 9. 23— ガーナの軍人、政治家。ガーナ救国評議会議長(元首)。
- Achenwall, Gottfried** アッヘンワル(アッヘンヴァル) 1719. 10. 20—72. 5. 1 ドイツの統計学者。〈Statistik〉なる名称を初めて用いた。
- Acheson, Dean Gooderham** アチソン 1893. 4. 11—1971. 10. 12 アメリカの元国務長官、弁護士。朝鮮戦争、NATO創設、対日講和など、戦後処理と冷戦政策に大きな役割を演じた。
- Acheson, Edward Goodrich** アチソン 1856. 3. 9—1931. 7. 6 アメリカの化学者、発明家。電気炉を改良して、カーボランダムを作る方法を発明、更に石墨を主剤としたオイルダグ、アクアダグ、グレダグ等のコロイド状耐熱潤滑剤を発明した。
- Achillini, Alessandro** アキリニ 1463. 10. 29—1512. 8. 2 ルネサンス期イタリアの哲学者、医師。当時の代表的なアリストテレス主義者。
- Achour, Habib** アシュール 1913— チュニジアの労働組合指導者。元デスツール社会党政治局員、中央委員。イスラム教徒。
- Acilius** アキリウス 前2世紀頃 ローマの元老院議員、歴史家。ギリシア語で前184年頃までのローマ史を著わす。
- Ackeret, Jacob** アッケレート 1898. 2. 17— スイスの流体力学者、航空力学者。超高速風洞を製作。
- Ackerknecht, Erwin** アッカークネヒト 1880— ドイツの教育者。国民図書館制度と陶冶制度の改革者。文芸批評家、文芸史家としても有名。
- Ackland, John** アクランド 1699—1753 イギリスの救貧法改革者。
- Ackley, Gardner** アクリー 1915. 6. 30— アメリカの経済学者。専門はインフレ、物価問題。64—68年大統領経済諮問委員長。
- Ackoff, Russell L.** アコフ 生没年未詳 アメリカの工業経営学者。主著『オペレーションズ・リサーチ序説』(共著)。
- Acock, Winifred M.** エイカック 1883—1974 アメリカ人 キリスト教(バプテスト派)教会宣教師。教育(横浜渡辺女学校:英語)。
- Acosta, Aida do** アコスタ ?— サントス・デモンNo. 9飛行船で単独飛行をしたアメリカの女性飛行士。

Acosta, Joaquín アコスタ 1800. 12. 29—52. 2. 21 コロンビアの軍人、政治家、地理学者。著書“Viajes a las regiones ecuatoriales”。

Acosta, Julio アコスタ 1872. 5. 23—1954. 7. 6 コスタリカ大統領(1919—24)。

Acte アクテ 皇帝ネロの寵愛を受けた女解放奴隷。

Acton, Sir John Francis Edward アクトン 1736—1811. 8. 12 フランス生れのイギリス貴族、海軍将校。1785年ナポリ王国首相。

Acuña, Pedro Bravo de アクニャ ?—1606. 6. 24 スペイン人のフィリピン群島長官。在任中徳川家康に書簡や贈物を呈し、秀吉時代の緊張を緩和して、彼らと貿易を復活し、寺沢広高や、島津義弘とも書簡を往復した。

Acyutadeva Rāya アチュタデーバ・ラーヤ (アチュタデーヴァ・ラーヤ) ?—1542 インド、ヴィジャヤナガル王国の王(在位1529—42)。

Adad-nirāri I アダドニラーリ I ?—前1275頃 アッシリア王(在位前1306頃—1274)。

Adad-nirāri II アダドニラーリ II ?—前891 アッシリア王(在位前910—889)。

Adad-nirāri III アダドニラーリ III ?—前784 アッシリア王(在位前810—782)。

Adair, James アデーア(アデール) 1709—83 インディアンとの交易商。著書『アメリカ・インディアン史』(75)は史料として重要。

Adak, Fehim アダック 1931— トルコの土木技師、政治家。77年7—12月デミレル連立内閣で農相。

Adam, Neil Kensington アダム 1891. 11. 5—1973. 7. 19 イギリスの化学者。表面化学の研究で知られる。

Adama, Modibo アダマ 1771—1848 ナイジェリアのフラニ族の指導者。19世紀はじめ、フォンビナ地方のフラニ族を統一してイスラム王国をつくりあげた。

Adametz, Leopold アーダメッツ 1861. 11. 11—1941. 1. 27 オーストリアの畜産学者。近代畜産学の建設者。

Adams, Abigail アダムズ 1744—1818 アメリカ大統領ジョン・アダムズの夫人。

Adams, Alice Pettee アダムズ(アダムス) 1866—1937 アメリカの宣教師、社会事業家。1891年岡山に来住し、日本で最も古いセツルメントの一つである岡山博愛会を創立。

Adams, Arthur Hyman アダムズ(アダムス) 1847. 10. 24—79. 11. 23 アメリカの海外伝道会宣教師。1874年来日し、浪花教会を創立。

Adams, Charles Francis アダムズ 1807—86 アメリカの外交官。南北戦争の頃駐英大使として活躍。

Adams, Henry Carter アダムズ 1852. 12. 31—1921. 8. 11 アメリカの経済学者。イールとともにアメリカにおける歴史学派の代表者。鉄道適正料金の算定方式を確立したことは彼の大きな功績である。

Adams, John アダムズ 1735. 10. 30—1826. 7. 4 アメリカ初代副大統領、第2代大統領(1797—1801)、法律家。対フランス関係の悪化で党内から批判され孤立。

Adams, John アダムズ 1772—1863 アメリカの教育者。マサチューセッツ州アンドウヴァのフィリップ・アカデミー校長。

Adams, John アダムズ 1857—1934 イギリス・アメリカの教育家。グラスゴー、ロンドン、ハーヴァード、ロスアンゼルス各大学の教育学のゼミナール教師、教授。

Adams, John Couch アダムズ 1819. 6. 5—92. 1. 21 イギリスの天文学者。天王星の運動の不規則性、月の運動理論、獅子座流星群の軌道などを研究。海王星発見者の一人。

Adams, John Quincy アダムズ 1767. 7. 11—1848. 2. 23 アメリカ第6代大統領(24—28年)。国内交通路の建設に熱意を示し、また奴隷制とその拡大に強硬に反対し続けた。

Adams, Robert アダムズ 1791—1875. 1. 13 アイルランドの医師。アダムズ=ストークス症候群の発見者。

Adams, Roger アダムズ 1889—1971. 7. 6 アメリカの有機化学者。強力な酸化白金触媒の製法を発見。

Adams, Samuel アダムズ 1722. 9. 27—1803. 10. 2 アメリカ独立戦争における愛国派の指導者。マサチューセッツ州知事。

Adams, Sherman アダムス 1899. 1. 8—アメリカの政治家。53年から58年までアイゼンハワー大統領の補佐官。

Adams, Walter Sydney アダムズ 1876. 12. 20—1956. 5. 10 アメリカの天文学者。シリウス伴星のスペクトル線偏位の確認など天体物理学に貢献。

Adams, William アダムズ(ミウラ・アンジン) (三浦按針)；アダムズ 1564. 9. 24頃—1620. 4. 24 日本に来た最初のイギリス人。日本名三浦按針。徳川家康に仕え、外交顧問として重く

- 用いられオランダ、イギリスの平戸商館設置に尽力、朱印船貿易家としても活躍。
- Adamson, Joy アダムソン** 1910—80. 1. 3
オーストリア生まれの動物学者。ライオンを主人公にしたエルザ・シリーズが世界的ベストセラーとなる。
- Adanson, Michel アダンソン** 1727. 4. 7—1806. 8. 3 フランスの植物学者。〈科〉の造語者。
- Adashev, Aleksei Feodorovich アダーシェフ(アダーシェフ)** ?—1561 ロシアの政治家。1547年イワン 4 世の親政開始時に指導的な政治顧問。
- ad-Damīrī, Kamālū'd-Dīn Muḥammad b. Mūsā アッ・ダミーリー** 1344頃—1405. 10. 28 エジプトの博物学者、神学者、詩人。
- Addams, Jane アダムズ** 1860. 9. 6—1935. 5. 21 アメリカの女流社会事業家。アメリカ最初のセツルメントとして有名なフル・ハウスをシカゴに建設(89)、全アメリカのセツルメント運動の中心となる。ノーベル平和賞を受く(31)。
- Addington, Henry, 1st Viscount Sidmouth アディントン** 1757. 5. 30—1844. 2. 15 イギリスの政治家。リヴァプール内閣に内相となり(12)、〈ラッダイトの乱〉その他労働階級の運動に激しい弾圧を加え不評を買ひ、内相を辞した(21)。
- Addison, Christopher, 1st viscount アディソン** 1869. 6. 19—1951 イギリスの医者、政治家。自由党から労働党に転じ第二次マクドナルド内閣の農漁相(30—31)に任じ貴族に列せられた(37)。
- Addison, Thomas アディソン(アジソン)** 1793. 4—1860. 6. 29 イギリスの医師。アジソン氏病(青銅病、ブロンズ病)を発見。
- Adee, Alvey Augustus エーディー** 1842—1924 アメリカの外交家。モンロー主義の時代の代表的外交官。
- Adelgunde アデルグンデ** ?—695/700 メロビンギ家王女。モーブージュ修道院長。
- Adelheid アーデルハイト** 931頃—99. 12. 6 神聖ローマ皇帝オットー一世(大王)の後、ブルグント王ルドルフ二世の娘、聖女。
- Adenauer, Konrad アデナウアー** 1876. 1. 5—1967. 4. 19 西ドイツの政治家。ドイツ連邦共和国の初代首相(49—63年)。激しい東西対立のまっただなかで、西ドイツの主権回復、再軍備、戦後の経済復興をなすが、東西ドイツの再統一、ベルリン問題の解決はできなかった。
- Adivar, Abdülhak Adnan アディバル(アディヴァル)** 1881—1955 トルコの医師、政治家。トルコ語版イスラム大百科の編集にも従事。
- Adler, Alfred アドラー** 1870. 2. 7—1937. 5. 28 オーストリアの精神病学者、心理学者。『個人心理学』の学派をうたてた。
- Adler, Friedrich アドラー** 1879. 7. 9—1960. 1. 2 オーストリアの社会主義者。社会民主党幹部、第二インタナショナル書記をへて社会主義労働者インタナショナルの書記(23米)、第二次大戦勃発直前に辞職。
- Adler, Georg アドラー** 1863. 5. 28—1908. 6. 11 ドイツの社会経済学者、社会主義史家。マルクスの鋭利な批評家で、国際労働法の提唱者。
- Adler, Max アドラー** 1873. 1. 15—1937. 6. 28 オーストリアの社会民主主義者。オーストリア・マルクス主義の代表的理論家。主著『思想家としてのマルクス』(1908)。
- Adler, Mortimer アドラー** 1902— アメリカの合理主義的教育理論家、法哲学者。主著“*How to Read a Book*”(1940)。
- Adler, Viktor アドラー** 1852—1918 オーストリアの社会民主主義者。社会民主党の創設者。
- ‘Adlī Pasha Yakan アドリー・パシャ** ?— エジプトの政治家。ワフド運動の指導者の一人。1922年立憲自由党を設立。
- Adolf von Nassau アドルフ・フォン・ナツサウ(アドルフ)** 1255頃—98 ドイツ王(在位1292—?)。
- Ādonijah アドニア(アドニヤ)** ?—前1000頃 ダビデの第4子(列王紀略)。
- Adoratskii, Vladimir Viktorovich アドラツキー(アドラーツキイ)** 1878—1945 ソ連のマルクス学者。マルクス主義史および文献の専門家で、マルクス、エンゲルス、レーニンの著作の編集、刊行に従事した。
- Adoula, Cyrille アドゥラ** 1921— ザイール(コンゴ、キンシャサ)の政治家。バールジャ族。1961年首相。
- Adrian, Edgar Douglas エードリアン(アドリアン; エイドリアン)** 1889. 11. 30—1977. 8. 4 イギリスの生理学者。ノイロン機能を発見し、ノーベル生理・医学賞受賞。
- Adsani, Mahmoud アドサーニー** 1934— クウェイトの石油技術者。クウェイトの石油分野での第1人者で、著書には『オイル・オブ・クウェイト』など。